

りと雖も、積雪深く、毎年十月下旬より降雪、一月中は十四五尺に及び、冬季郵便夫は爲めに屢々道を失ひ、遂に凍死して不通となること稀ならずと。

電線はギルギットに通す同地は物資豊富にして、フンザ、ヤツシン地方よりの道路輻湊し、印度政府は、パミールに備ふる爲め、歩砲兵若干を配置す、以南は部落處々に散在し、且つ六十尺以上に達する樅、落葉松の喬木、蒼鬱天を掩ひ、土人は麥粉及杏實を常食に用ひ、肉食極めて稀なり云々と。

又西道の難路たる、ミンタカ或はキリック嶺の麓より、フンザに至る約八十哩、五日の行程を土人は之を三日間に急行すと。該路を経過するに、年中の最好時期は、フンザの水落ちて、未だ氷結せざる時に在り。多少の遅速は免れざるも、大約十月中旬より、十一月末迄とす。一般地勢はフンザ川に沿ひ、通路亦是に沿ふ。兩岸側には峭立せる山嶽相連り、高きは海拔二萬二、三千尺に及び、通路は概ね八千尺乃至九千尺の間に在り。左右兩岸の幅員、廣きは四、五町、狭きは四、五十間に過ぎざる處を有し、夏季は山頂の積雪解け、奔流滔々として、矢よりも早く、冬季は全く氷結す。地質は普通花崗岩石にして、往々石英岩を交へ、物資缺乏、馬糧も之を得る能はず。土

ギルギット
の状況

キリック
フンザ間
の状況

通過の時
期

地質